



コードレスナッター N1B1 かんたんガイド

このたびは、エビ印コードレスナッター（以下、本機と省略）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

取扱説明書について

- 取扱説明書は本機には添付していません。ご使用の際にはかんたんガイド（本書）と合わせて、株式会社ロブテックスホームページ内に公開されている取扱説明書を必ずよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- 取扱説明書は以下のURLよりパソコン/スマートフォンにてアクセスしていただき、本書と合わせてお読みください。
<https://www.lobtex.co.jp/products/tabid/140/pdid/N1B1/catid/43/Default.aspx>
- お読みになった後も本機と一緒に大切に保管してください。



スマートフォンは
こちらから

はじめに

- 本機は、エビ印ブラインドナット（以下、エビナットと省略）をかしめ締結させるためのエビナット専用工具です。他の用途を意図した設計・製造・販売はいたしておりません。
- お使いになるエビナットの仕様や強度は、お客様において十分設計検討されたエビナットをご使用ください。

1 かんたんガイド（本書）、安全ガイド及び取扱説明書

本機の使用説明は、かんたんガイド（本書）、安全ガイド、取扱説明書に分かれています。必要な情報に応じて、このかんたんガイド（本書）、安全ガイド、または取扱説明書を参照してください。

かんたんガイド（本書）に記載している主な内容

- 各部の名称
- セット内容
- 初期設定方法
- シリアル No.

安全ガイドに記載している主な内容

- 電動工具の一般的な安全上の警告
- コードレスナッターの安全上の警告 / 注意

取扱説明書に記載している主な内容

- 安全上のご注意
- 各部の名称
- 仕様
- ご使用前の準備
- 調整方法
- 作業手順
- エラー表示一覧
- 各エビナットの出力設定表
- 故障かな？と思ったら
- 部品の注文方法

2 重要なお知らせ

- 本機を取り扱う前に、必ず本書及び取扱説明書・安全ガイドをよくお読みください。また、本機の取り扱いや付属品の交換、及び部品交換は取扱説明書の記載内容に従ってください。
- 本書及び取扱説明書・安全ガイドの内容につきまして、ご不明な点やご質問がございましたら、お買い求めの販売店、又は株式会社ロブテックス（以下、当社と省略）コールセンターにお問い合わせください。
- 本機に混在する危険の全てを予測し、本書及び取扱説明書・安全ガイドに記載することはできません。本機を取り扱うときは、本書及び取扱説明書・安全ガイドに記載されていることだけでなく、安全対策に関して十分配慮してください。
- 本書及び取扱説明書・安全ガイドは、日本語を原語として作成しています。お客様の責任において本書及び取扱説明書・安全ガイドの内容を十分に理解してください。
- 本書及び取扱説明書・安全ガイドの著作権は当社が所有します。本書及び取扱説明書・安全ガイドの内容を無断で公開・複写・複製、又は別の言語に翻訳することは禁じられています。

3 免責について

- 本機の誤用・乱用・無断改造等が原因で発生した直接、又は間接の傷害や損失利益の補償及びブラインドナットの強度等ブラインドナット自身に関する保証はいたしません。
- 当社による承認のない改造により発生した一切の損害、又は傷害に対して何らの責任はないものとします。
- 当社には、推奨部品以外の部品の使用により発生した一切の損害、又は傷害に対して何らの責任はないものとします。

株式会社 ロブテックス

コールセンター TEL(072) 980-1111 FAX(072) 980-1166

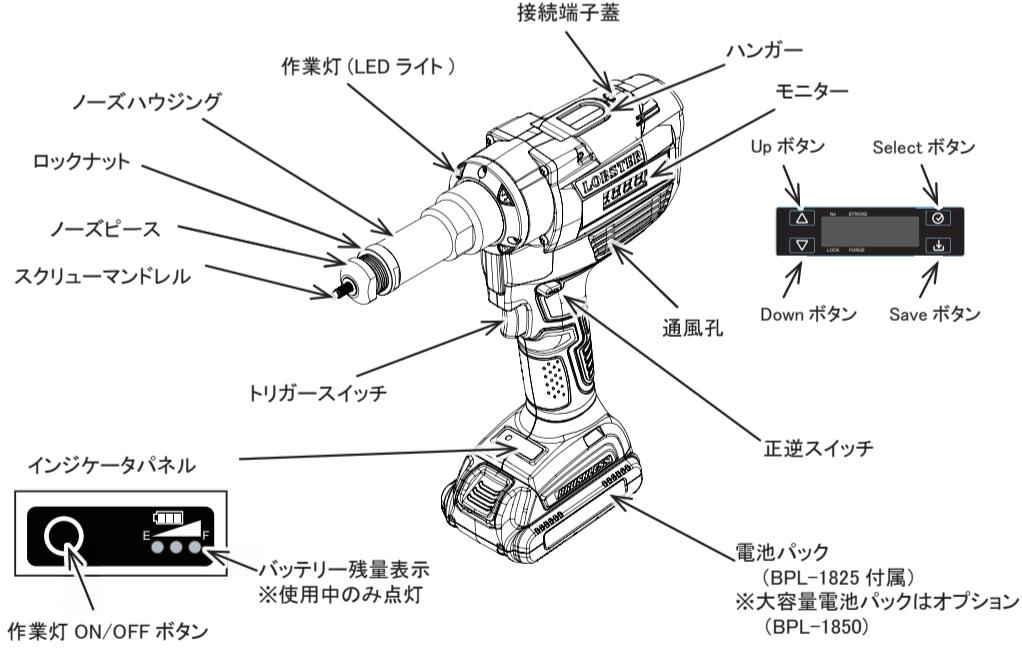
ホームページ <https://www.lobtex.co.jp/>

〒 579-8053 大阪府東大阪市四条町 12-8

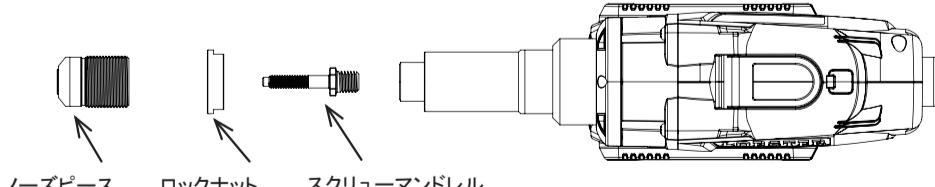
No.NEN1B1SK1A32

●各部の名称

●本体（N1B1）



●締結ナット変更時の交換部品



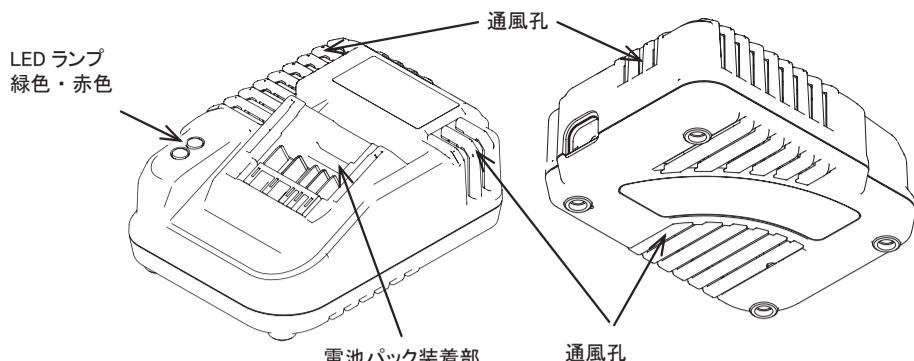
※ロックナットは全てのサイズで共通して使用します。

<ボカヨケツールの取り付け>

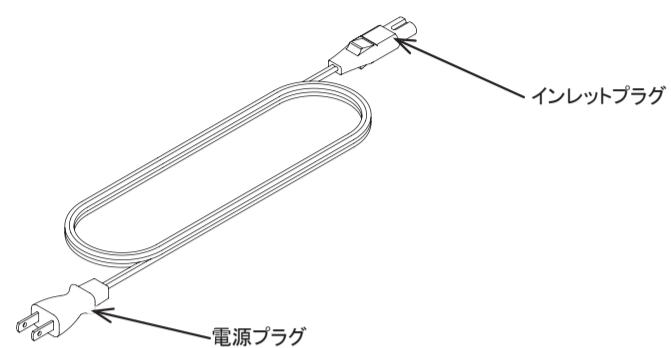
専用のボカヨケ取り付けキット（PYSN1H80）を購入いただくと、ヘルツ電子株式会社のボカヨケツール（品番 TW-800T）が取り付けできます。

※無線送信機の仕様並びにボカヨケ取り付けキットについては弊社コールセンターにお問い合わせください。

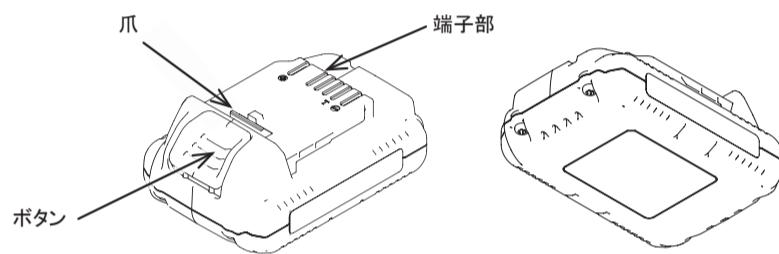
●充電器



●電源ケーブル



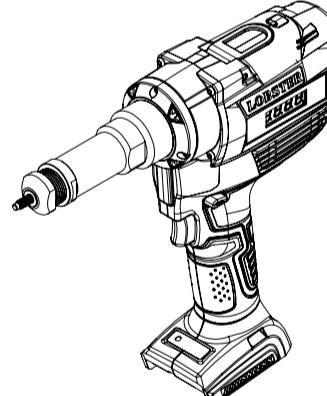
●電池パック



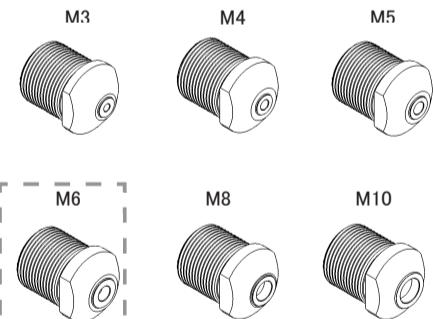
●セット内容

専用ブローケースの中に本機を含む下記の全てが揃っていることをご確認ください。
梱包には万全を期しておりますが、万が一にも不足している場合はお買い求めの販売店又は当社コールセンターにお問い合わせください。
製品によっては、下記に記載していない注意書きが梱包されている場合がございます。製品の使用又は保守点検時に参照してください。

1. コードレスナッター N1B1



2. ノーズピース

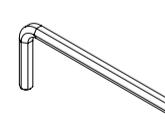


※商品出荷時は M6 のノーズピースが装着されています。

3. 板スパナ (2本)



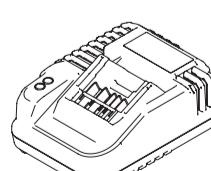
4. 六角棒レンチ



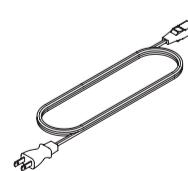
5. スクリューマンドレル



6. 充電器



7. 電源ケーブル



8. 電池パック (BPL-1825)



9. かんたんガイド (本書)



10. 安全ガイド



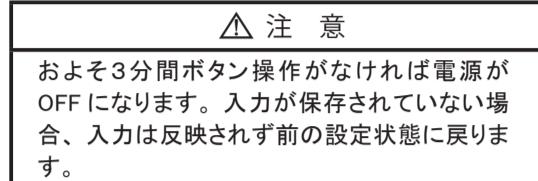
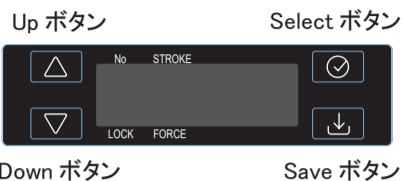
●初期設定方法

ストローク及び出力の設定は下記を参考に入力してください。

ご使用前の準備や、より詳しい取扱方法はホームページより取扱説明書をダウンロード頂き、「ご使用前の準備」に従ってください。

ストロークと出力の入力方法 及び調整方法

本機は、使用するエビナットと母材の厚みに合わせて、ストロークと出力を調整する必要があります。次の手順によりかしめストロークと出力を入力しつつ、エビナットのかしめしろが適正になるように調整してください。入力はモニター表示画面の横のボタンで行います。



1 トリガースイッチを引くと電源が入り、モニターに表示が点灯します。

2 Select ボタン(✓)を押します。(3秒以上5秒未満)

前2文字が全灯、後2文字が半灯、2文字目のバーが中央の位置となり、設定を保存するメモリーパン号の選択画面になります。Up ボタン(△)・Down ボタン(▽)を押して登録するメモリーパン号を選択してください。(本機はメモリーパン号0~9の10個の設定を保存することが出来ます。)



3 Select ボタン(✓)を押してストローク入力に進みます。(3秒未満)

前1文字が半灯、後3文字全灯、2文字目のバーが上のSTROKEの位置に移動し、ストロークを入力する画面になります。Up ボタン(△)・Down ボタン(▽)を押してストロークを入力してください(長押し早送り)。ストロークは0.1mm刻みで0.1~10mmの間で設定できます。



△ 注意

そのままSelect ボタン(✓)を3秒以上押し続けると入力を破棄して初期画面へ戻ります。

5

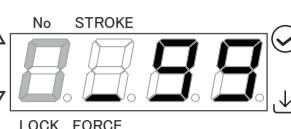
Save ボタン(↓)を押す。(2秒以上)【設定完了】

2で選択したメモリーパン号に設定が保存されます。入力した設定値を確認したい場合はSelect ボタン(✓)を押して下さい。ストロークと出力の設定値が表示されます。

<ストローク表示>



<出力表示>



△ 注 意

- Save ボタン(↓)では無くSelect ボタン(✓)を押した(3秒未満)場合は、メモリーパン号選択画面2に戻ります。
- Save ボタン(↓)では無くSelect ボタン(✓)を3秒以上押した場合は、新たに入力した設定を破棄して初期画面へ戻ります。

6 ご使用のエビナットを実際にかしめて調整を行います。

①かしめる前のエビナットの全長を測定してください。

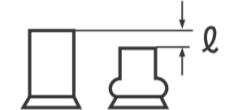
②そのエビナットをかしめた後の全長を測定し、かしめる前の寸法から後の寸法を引いて実際のかしめしろを計算してください。

※エビナットをかしめる際は取扱説明書の<作業手順>を参照してください。



かしめしろ(l) = かしめ前のエビナット全長 - かしめ後のエビナット全長

③かしめしろが適正かしめしろの±0.3mm以内になるように、ストロークの入力値を調整してください。
(ストロークの入力値を調整しても適正かしめしろまでかしめられない場合、出力が足りない場合があります。出力の入力値を1づつ上げて調整してください。)

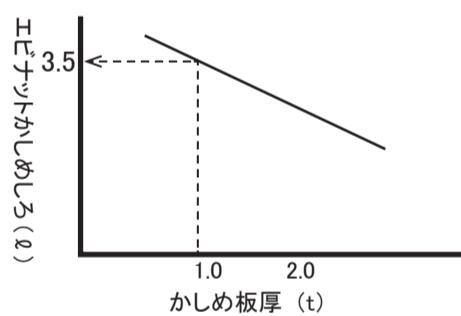


△ 注意

- 機体により個体差がありますので、同じエビナットをご使用の場合でも各機体ごとに調整が必要です。
 - ストローク及び出力の設定値を上げる場合は徐々に上げていってください。大きく上げ過ぎるとエビナットのネジ山を破損させたり、スクリューマンドレルなど機体を損傷させる可能性があります。
 - ストロークが少な過ぎる場合または出力が弱すぎる場合は、エビナットのかしめが足らず空回りする原因となります。
 - ストロークが多過ぎる場合かつ出力が強すぎる場合は、エビナットのかしめ過ぎでエビナットのネジ山が破断する原因となります。
- ※ストロークと出力の両方が大きい場合にナットが破断します。

入力するストロークの値については、母材の厚みを確認し、ご使用になられるエビナットに付属のかしめしろ表から適正かしめしろを確認してください。

(例) エビナットのかしめしろ表が右のとき、母材の厚み(かしめ板厚)が1.0mmとすると、適正かしめしろは3.5mmとなります。



△ 注意

機体による個体差がありますので、最後に必ず調整を行なう必要があります。

4 Select ボタン(✓)を押してかしめ出力入力に進みます。(3秒未満)

前1文字が半灯、後3文字全灯、2文字目のバーが下のFORCEの位置に移動し、出力を入力する画面になります。Up ボタン(△)・Down ボタン(▽)を押して出力を入力してください(長押し早送り)。出力は1刻みで01~99の間で設定できます。



入力する出力値については、各エビナットの出力設定表(右表)より使用するエビナットの数値を確認してください。

(例) エビナット NSK-6M をご使用の場合、出力設定表より「60」となります。

※他社ブランドナットなど出力設定表に無いブランドナットは出力設定表の材質とねじサイズを参考にして、かしめ状態を確認し、設定値を決めてください。

※かしめ出力の設定は、かしめ過ぎ(2度かしめなど)によるスクリューマンドレルの破損やエビナットのねじ山破断を防止する機能で、出力の調整によりかしめ状態をコントロールする機能ではありません。この機能が不要な場合は「99」に設定してください。

△ 注意

- 数値はあらかじめ設定された出力を呼び出す番号で実際の出力値ではありません。
- そのままSelect ボタン(✓)を3秒以上押し続けると入力を破棄して初期画面へ戻ります。

各エビナットの出力設定表

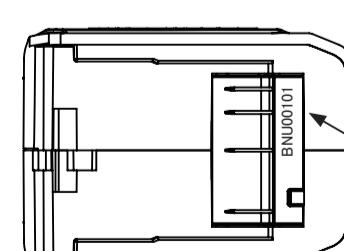
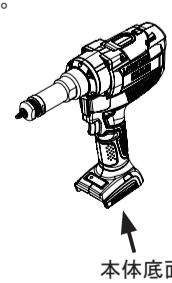
ねじサイズ	M3	M4				M5			
品番	3M	4M	415M	425M	435M	5M	515M	525M	535M
品番(NTK)	3M15	4M	4M20	4M25	4M35	5M	—	5M30	—
NSK(スチール)	05	30	20	15	20	40	45	45	35
NSD(スチール)	出力番号	—	40	15	15	15	70	40	45
NAK(アルミニウム)	出力番号	—	10	10	10	05	20	15	15
NAD(アルミニウム)	出力番号	—	10	10	05	05	20	15	15
NTK(ステンレス)	出力番号	30	40	40	35	40	55	—	55
NSK-MR(スチール)	出力番号	—	30	—	—	—	45	—	—
NSD-MR(スチール)	出力番号	—	15	—	—	—	50	—	—

ねじサイズ	M6				M8				M10	
品番	6M	625M	640M	8M	825M	840M	10M	1025M	1040M	
品番(NTK)	6M	—	6M40	8M	—	8M40	10M	—	10M40	
NSK(スチール)	60	55	65	65	80	85	80	85	95	
NSD(スチール)	65	60	60	85	85	85	—	85	85	
NAK(アルミニウム)	40	45	45	70	50	55	—	55	55	
NAD(アルミニウム)	45	45	50	55	50	65	—	55	50	
NTK(ステンレス)	55	—	70	65	—	99	65	—	95	
NSK-MR(スチール)	60	—	—	95	—	—	99	—	—	
NSD-MR(スチール)	70	—	—	95	—	—	—	—	—	

※表の“-”は当社標準エビナットのラインナップにはございません。

●シリアルNo.

※コードレスナッターベルのシリアルNo.は本体底面に3桁の英字(製造年月)と5桁の数字で表示されています。



シリアルNo.記載箇所

製造年月の見方

製造年月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
略号	A	B	M	N	K	W	T	Y	U	O	L	Z

例) 20②④ 年 ⑨月

↓ ↓ ↓
B N U → BNUOOOOO

シリアルNo.